

療考会NewsLetter2月号



オンラインパパママ相談会&ミニ講座を開催いたしました。

今月号は2月オンライン企画のご報告と、参加者の皆様から多数頂戴致しましたご意見ご感想をお伝え致します。

パパママ相談会

事務局から選出した3人の質問に、療考会メンバーが自分の経験を元に意見を述べ、講師からは専門的なアドバイスを頂きました。(進行をスムーズに行う為、回答者も療考会メンバーから選出いたしました。)まん延防止等重点措置期間中だった為、療考会メンバーも全員自宅から参加しマスク無しで話すことができました。回答者の中には、実際に自宅で使用しているおもちゃ、絵本、スプーン、補助器具等を見せながら回答していたメンバーもいました。自宅から参加できるオンラインならではの光景が随所に見られた相談会となりました！

1

言葉について

言って欲しくない言葉を言った場合、どのように対応すればいい？

2

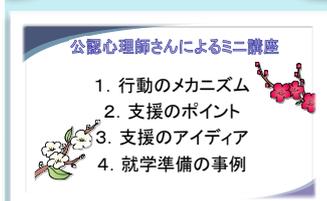
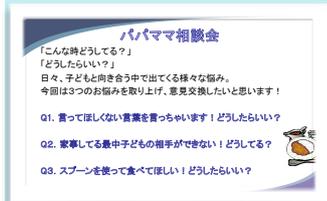
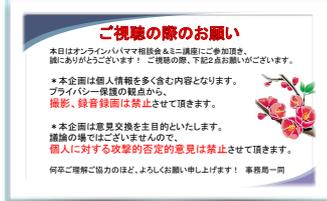
余暇について

動画以外でオススメの遊びは？子どもの相手をできない時どうしてる？

3

食事について

オススメのスプーンの練習法は？手先の練習になる遊びとかある？



*目次は配布資料より引用

2022年2月9日

開始：11：00

終了：12：08

*10：45よりZoom

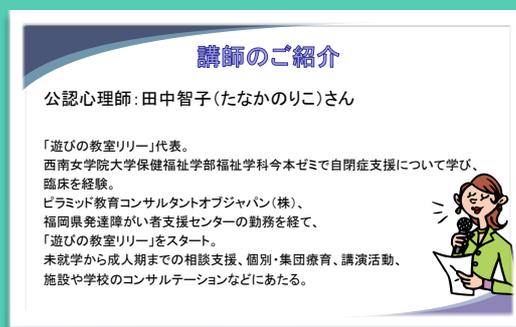
入室開始。皆様、順調にご入室頂き、開始時刻ピッタリにスタートする事が叶いました！録画録音等の禁止のお願い、講師の紹介を行い、相談会を開始させて頂きました。

(上記PowerPointのスライドを画面共有し、企画開始前に皆様にご覧頂きました。)

公認心理師さんによるミニ講座：生活で使える支援のアイデア

公認心理師の田中智子先生に下記内容の講座を開催して頂きました。田中先生が今まで扱ってこられた事例を基に、私達が日常生活で使用できるアイデアをふんだんに盛り込んで頂いた講座となりました！写真を多く使用したスライド資料をご使用頂き解説頂けたので、参加者さまから「大変わかりやすかった！」との声を多く頂戴致しました。田中先生、本当にありがとうございました！！

- 1 行動のメカニズム
 - ・ 行動観察のポイント
 - ・ 行動の頻度が増える原理／行動の頻度が減る原理
 - ・ 無反応の対応について
- 2 支援のポイント
 - ①環境の工夫
 - ②スキル指導
 - ③動機づけ／周りの対応
- 3 支援のアイデア
- 4 就学に向けた準備の事例



企画を終えて・・・

*事務局

初のオンライン企画。会員の皆様に受け入れて頂けるか本当に不安でした。会議を重ね内容を精査し、本番同様の模擬練習を行うなど、ギリギリまで準備を重ねました。療考会が開催した学習会は2019年10月が最後、講演会は2020年1月が最後となり、コロナ禍に突入致しました。止まっている交流の復活、感染リスクに怯える事なく安心して参加できる講座開催を今回オンラインという手法で実現させました。療考会の活動の幅を広げることができたと感じております。しかし、課題も多数あり改善する余地がまだまだあると実感しております。最後まで音声繋がらず映像のみで参加となった参加者様がいらっしゃいました。トラブルシューティングが上手くいかず大変申し訳ございませんでした。この場をお借りして深くお詫び申し上げます。今後、同様の状況になった参加者様への対応方法を検討し、トラブルがあった際にもスピーディーに対応できる環境を整えて参りたいと思います。企画直後に、「本日はとても勉強になりました。ありがとうございました。」とチャットメッセージをお送り頂いた774様、ご感想を聞く事ができ療考会一同大変嬉しく思いました！この場をお借りしてお礼申し上げます！

*代表者

コロナの影響で保護者同士話す機会が減り、気さくなお喋りから生まれる相談や、情報を共有する場が少なくなっています。私達療考会スタッフも、そんな気持ちを持つ親の1人でした。オンライン企画では、誰もが嫌な思いをせず、皆で共感し合うことを大切にして、話し合いを重ね作り上げていきました。そんな中でも、悩んでいるのは自分だけじゃないと、改めて感じる事ができました。当日大勢の方が画面越しに参加してくださってるのを拝見して、本当に嬉しく、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。講座は私達自身もとても勉強になり、これから取り組んで行こうと思う事が盛り沢山でした。肢体不自由児、医療的ケア児の子育てにも活用できる学びが多くありました。企画作成に携わり、療考会の皆さん、会員の皆さんと一緒に参加することができて、とても楽しかったです！初のオンライン企画の大成功に立ち会うことができ、本当に嬉しく思います！